



学校だより

令和6年2月29日

ひびき

3月号

昭和54年3月3日制定

横浜市立獅子ヶ谷小学校

今年度もありがとうございました

～そして、45周年へ～

校長 大塩 啓介

いよいよ3月に入ります。今年度は新型コロナウイルスが2類から5類に変わり、世の中の様子も一変しました。昨年度も既に日常に戻りつつありましたが、今年度は物事が普通に進むようになりました。しかし、この3年間ブランクの影響は、特に児童の心身への影響が少なからず見られました。インフルエンザの流行は特に影響が大きく、欠席者数がいつもよりも多く見られました。これ以外にも、体力の低下や、コミュニケーション不足による意思疎通の難しさなど、心配されたところもありましたが、予想したほどの低下の様子はあまり見られませんでした。

教育のDXは進み、端末の日常的な活用は進みました。中学年以上の児童のタイピングスキルは上がり、低学年でもフリック入力を使って遅滞なく活動を進めることができます。新しい技術には、それに必要なスキルが求められますが、児童の習得の速度は速く、驚くばかりです。健康面ではブルーライトの弊害が指摘される場所ですが、学校にいる間、ずっと画面を見ているわけではありません。紙と端末をうまく組み合わせながら進めています。ご心配があれば、端末使用時にブルーライトカットの眼鏡をかけるのもよいと思います。

今年度は本校創立45年目の年です。学校として、次のステップに進んでいくために、次年度に向けて、学校アンケートでいただいたご意見を真摯に受け止め、改善のための検討を行ってまいります。まずは、来年度実施する45周年行事等に向けて取り組みます。毎年の歩みはわずかな変化かもしれませんが、少しずつでも前に進めてまいりたいと思います。

来年度は、

- ・学校・保護者連絡アプリ「すぐーる」の導入によるペーパーレス化の徹底を図ります。
- ・あゆみの後期の所見欄を廃止し、個人面談をさらに充実させ、お子様の様子をわかりやすくお伝えいたします。
- ・端末の持ち帰りを日常化し、家庭学習の推進を図ります。
- ・学校だより、学年だより等のお知らせを、前月25日に発行し、保護者への連絡を早めます。併せて、データによる配信とします。
- ・45周年行事に向け、保護者・地域の皆様と協力して進めてまいります。

今年度もお世話になりました。来年度も本校の教育活動にご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。